

KINOLINE

紀伊國屋書店の提供する電子情報サービスの最新情報

vol.37, no.3 (May 2016)

1. <コンソーシアム成立のお知らせ>Early English Books Online (EEBO)
2. デジタル写真とビデオ動画の AFP World Academic Archive
国際平和映像祭(UFPFF)に「AFP 通信賞」を設立、2016 年エントリー作品を募集中！
3. Disability in the Modern World: History of a Social Movement
近代世界における障害:社会運動の歴史
4. 【OCLC News 第 10 号】—OCLC に関する様々な情報をお届けいたします—
5. Independent Digital Archive 1986-2012
インディペンデント、インディペンデント・オン・サンデー全文データベース
6. DEM (数値標高モデル=標高データ) —世界中の地図情報・GIS データをお手元に！
EVG 社製作 GIS データのご案内—
7. GIS 地質図データ —世界中の地図情報・GIS データをお手元に！
EVG 社製作 GIS データのご案内—
8. 書籍ダイジェストサービス「SERENDIP (セレンディップ)」のご紹介
厳選した国内・海外の良書のハイライトが 10 分で読める！

KINOLINE は Web 上でも閲覧できます。

KINOLINE

検索





Early English Books Online (EEBO)

コンソーシアム成立のお知らせ

期間限定で、大幅割引価格でご提供できるようになりました。

2016年4月、データベース Early English Books Online (EEBO)の、NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアムが成立致しました。

NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアムは、日本の学術研究の振興を目標として国立情報学研究所(NII)が予算を補助するもので、コンソーシアム期間中は大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)の会員館向けに EEBO を **1回買い切り・大幅割引の特別価格**でご提供しています。

EEBO は初期近代英国とヨーロッパに関する比類のない資料群であり、人文・社会科学研究に必須のデータベースのひとつとして、世界約 3,000 の研究機関で導入されています。英国の Jisc(英国情報システム合同委員会)をはじめとして、世界各国でナショナル・コンソーシアムに採択され(独仏蘭西米、台湾など)、多くの大学がコンソーシアムを利用して EEBO を導入しています。その一方で、日本国内では研究者が EEBO を利用できる機会はきわめて限られていました。

このたび、日本の学術研究の振興を目標とする NII-JUSTICE 共同購入コンソーシアムに EEBO が採択され、多くの大学様に大幅割引価格で EEBO をご提供できるようになりました。この機会にぜひ EEBO をご導入ください。

◆お申込み条件など

条件: 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE: Japan Alliance of University Library Consortia for E-Resources)に参加している機関であること ※機関向け契約のみです。個人向けの契約形態はございません。

販売総代理店: 紀伊國屋書店

価格: 個別にお見積り申し上げます。下記、学術情報商品部または、[最寄の営業所](#)までお問い合わせください。

◆コンソーシアム成立記念！特別長期トライアル・キャンペーンを実施中

2016年12月26日(月)までにお申込み頂いた機関様に、2か月間のトライアルを無料でご提供します。申込書をご請求ください。

※全学トライアルとなります。図書館／図書室等を通じてお申し込みください。個人でのご利用をご希望の場合は、1か月間の個人トライアルを承っておりますので、別途お申し付けください。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部
(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

国際平和映像祭(UFPFF)に協賛して 2015 年より「AFP 通信賞」を設定

— オンラインデータベース AFP World Academic Archive の活用事例として —

(株)クリエイティヴ・リンク

国際平和映像祭(UFPFF)は平和をテーマにした映像祭です。AFP World Academic Archive は国際平和映像祭に協賛して、2015 年に「AFP 通信賞」を新設しました。このコンテストに於いて AFP 通信のデジタル写真、動画を最も効果的に活用した作品に授与される特別賞です。

昨年からの協賛により AFP World Academic Archive の導入大学に在籍している学生は、世界中の新聞社、TV 放送局などプロのメディアに提供されている AFP 通信のデジタルコンテンツを活用しての応募が可能になりました。

2015 年の AFP 通信賞は臼井健太監督による「隣あわせ」(慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス)が受賞しました。

2016 年は JICA 横浜 にて 9 月 21 日に前夜祭、22 日に最終審査会が開催されます。



作品「隣あわせ」はこちらからご覧ください → <http://www.ufpff.com/archives/3399>

◆「国際平和映像祭(UFPFF)」とは◆

国際平和映像祭(UFPFF) は平和をテーマにした映像祭です。平和を願う世界中の学生を中心とした若者が、映像によって国を越えたつながりを持ってほしいという願いから国連が定めた国際平和デー(9月21日)に合わせて毎年横浜で開催しています。

【開催概要】

日時: 2016 年 9 月 22 日 JICA 横浜 にて 13:00-20:00(審査会は 16:00-20:00)

場所: JICA 横浜(神奈川県横浜市中区新港2丁目3-1)

主催: 一般社団法人 国際平和映像祭

後援: JICA 横浜(予定)、横浜市国際局(予定)、横浜NGO連絡会(予定)

協力: JICA(予定)、横浜コミュニティデザイン・ラボ、ユナイテッドピープル

【募集要項】

映像テーマ: 平和に関連する作品 例: 人々の絆、環境保護、持続可能性、日常にある平和、戦争、国際協力
人権ほか

対 象:どなたでも

作品時間: 5 分以内(2016 年以後に制作された作品)、2 作品まで

言 語: 日本語・英語以外の言語が使われている場合は英語字幕をつけること。

エントリー期間: 2016 年 4 月 21 日～7 月 21 日

選 考:10 組をファイナリストとして選出。ファイナリストの作品を 9 月 22 日の UFPFF 2016 で上映。最終審査を行います。

グランプリ:10 万円の賞金、翌年の映像祭で作品を発表する権利(10 分以内)

その他賞:横浜市国際局長賞、学生部門賞、AFP 通信賞、地球の歩き方賞、地球憲章賞

ジャンル:すべて

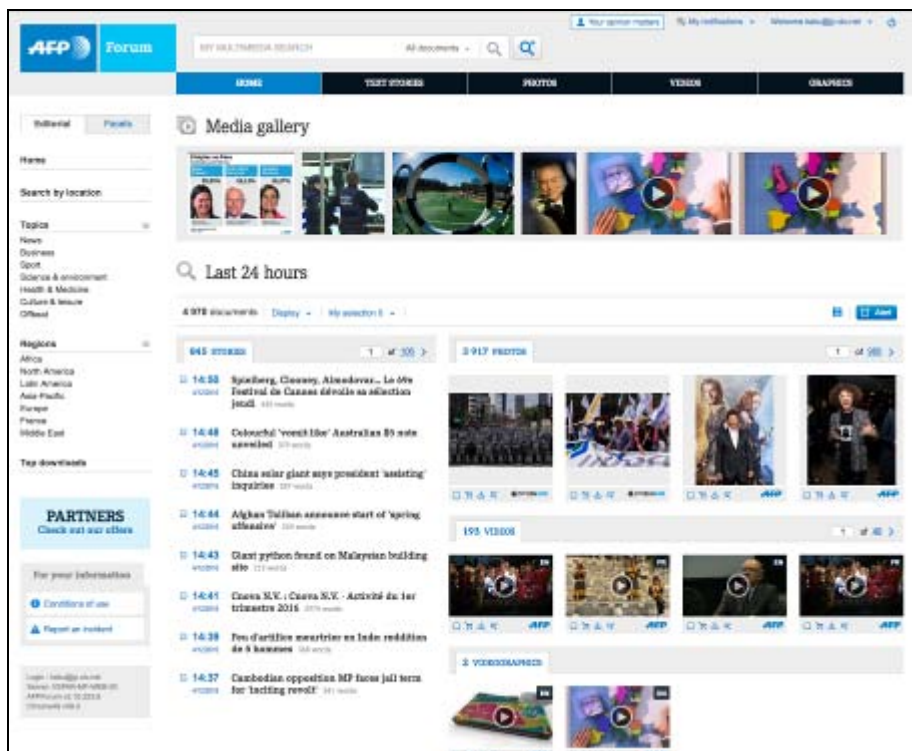
詳細はこちらをご参照ください。 → <http://www.ufpff.com/>

◆オンラインデータベース「AFP World Academic Archive」とは◆

「AFP World Academic Archive」はフランス最大の報道機関 AFP 通信が提供するオンライン・データベース・サービスです。世界中に取材拠点を持つ AFP 通信の 1000 万枚におよぶ最新のデジタル写真と 10 万点以上のビデオ動画は、高等教育機関における学習を支援するデジタルコンテンツとして最も適しています。グループワーク、ディスカッション、論文作成、プレゼンテーションなどを行う授業・研究において、国際的な通信社が提供する「AFP World Academic Archive」の活用は非常に効果的です。さらに、AFP 通信が提供するコンテンツは著作物二次使用許諾済みで、煩雑な許諾申請など一切不要です。

AFP World Academic Archive のサービスは 2010 年にスタートし、現在、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス、青山学院大学、帝京大学、学習院女子大学、創価大学、東京都立五日市高等学校、東京都立両国高等学校、大学入試センター、日本オープンオンライン教育推進協議会など数多くの教育機関に導入されています。

授業のオンデマンド配信、大学公式サイトから配信する公開講座、学会・研修会での先進事例報告等においても幅広く活用されてきました。



◆利用料金は年額固定制で、全ての学生・教職員が利用出来ます◆

利用料金は教育機関単位での年額固定制を設定。個々のユーザーの閲覧・検索・ダウンロードに料金は発生しません。同時アクセス数の制限もありません。契約教育機関に在籍する学生・教職員全てにアカウントを発行します。利用環境をユーザーごとにカスタマイズして利用出来ます。

◆無料トライアル受付中です◆

AFP 通信が扱う情報の圧倒的な量と質の高さを実際に見て、読んで実感していただくために 1 ヶ月間の無料トライアルサービスを行っています。どんな分野のコンテンツが収蔵されているか、研究論文やアクティブラーニングに活用できる素材があるかどうか、ご興味を持たれた方はぜひ下記までお申し込みください。



AFP World Academic Archive に関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm>に則り、取り扱わせて頂きます。

近代世界における障害:社会運動の歴史

Disability in the Modern World: History of a Social Movement

7人に1人が障害を経験している※といわれる中、障害を持つ人々とその社会史的関与についての学術的な記録は大きく欠落しています。本データベースはこの分野の包括的かつ国際的な情報を提供することで情報のギャップを埋め、メディア研究から哲学まで幅広い範囲の学術研究に貢献するものです。

完成の暁には、150,000 ページの一次資料、補助資料、アーカイブ資料と125時間分のビデオを収録予定で、20 世紀、特に障害者の権利に関する運動が始まった初期の状況に焦点をあてています。これらの動きが始まり、最も強く運動が行われた北米に特に焦点をあてていますが、他地域のコンテンツも収録しており、国際的なコレクションとなっています。障害の歴史と研究を発展させるのみならず、メディア、芸術、政治学、教育その他、見逃されがちな障害者が関与している分野の研究・教育上、基本的な情報源です。



※ World Bank, World Report on Disability, 2015, Washington, DC

◆学際的な情報源◆

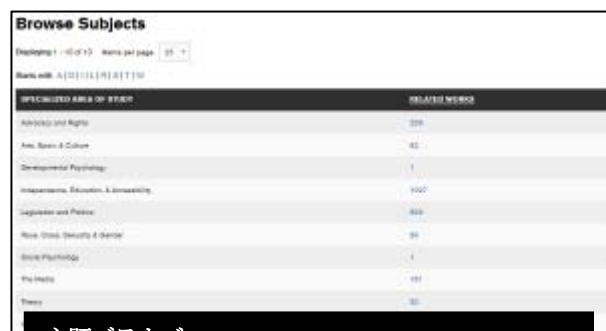
■戦争、産業、技術

戦時中の産業・技術の分野における変革は、障害者に大きな影響を与えました。戦後の経済、政治は大いに注目されてきましたが、紛争が障害者たちに否応なしに与えた多大な影響については未だに十分調査されていません。本データベースは、戦争に関連した技術の進歩がもたらした破壊的な影響を検証することを可能にし、特に医学的治療の進歩が、戦争で重傷を負った人々が生き残ることを可能にしたものの、かれらが重大な心身の障害を持って生きることになったという事実と、それを社会がどう受け止めてきたかを示します。



詳細検索画面

1943 年にアメリカの戦争情報局が出したプレスリリース“Rehabilitation of Soldiers and Sailors”(兵士、水夫のリハビリテーション)では、社会における戦争の影響を示しています。退役軍人や軍隊史の研究を通じて、戦争が障害者のコミュニティ支援に向けての立法や政府後援プログラムの発展にどのような影響を与えたかをみることができます。また、法律が障害者支援を進めてきた様子を追跡することができます。兵士名簿は、除隊時の障害の度合を示しており、戦争が障害者に与えた衝撃を開示します。



主題ブラウズ

取り上げられている地域・人・機関、出版者、様々な角度のブラウズメニューが用意されています。

■メディア

マスメディアは、社会が自身と世界をどのように語ってきたかを知る手助けとなります。時に我々の利益にならないこともありました。メディアは、ステレオタイプ的な見方を存続させ、障害者を低く評価するという罪をおかしてきました。本データベースは、これらの過ちを特定する手段を提供します。The Disability Rag など、障害者のコミュニティ内部で発展してきた定期刊行物は、メディアでの取り上げ方に変化を生じさせた活動を検証し、テレビ番組の字幕の表示/非表示の切替といったアクセシビリティの手段から共通言語の変化まで、マスメディアの偏見や先入観を批評するためのスキルを発展させる手助けします。

■権利と擁護

障害者の権利に関わる機関の行動主義や成果は孤立して存在してきたわけではありません。内外に協力関係を築くことで、インクルージョンとアクセシビリティのための立法に影響を与えうる政治的な推進力を作り上げてきました。障害者の権利運動の部分的な集合や、その他の市民権活動との協力関係と、共通の戦略をとることで、画期的な法制定に重要な役割を果たしてきたことを知ることができます。政治学、人種、LGBT 研究、第二波フェミニズム運動の各研究でご活用いただけます。

例えば、1973 年のリハビリテーション法第 504 条制定に際し、ブラックパンサー党党员は市民の抗議を後押し、障害者の権利を主張する人たちに温かい食事を提供しました。その後、1990 年にアメリカ障害者法制定後、LGBT 関連運動のメンバー達は、AIDS の人々を排除しようとする動きに立ち向かいながら、障害者の権利運動を通じて団結しました。本データベースを通じて、人種、階級、性別、芸術、スポーツ、理論、立法、政治、教育間のつながりを分析することを可能にします。

◆ハイライト・コンテンツ◆



■The Disability Rag/The Ragged Edge

アメリカの定期刊行物”The Disability Rag”とその後継誌”The Ragged Edge”の電子版を初めて完全提供します。”The Ragged Edge”は、1980年に創刊され、米国内の個々の活動家がコミュニティとして発展するよう、関係を築いていきました。障害者が健常者向けのメディアにおける障害者の描写をコントロールすることができない時、”The Disability Rag”のような定期刊行物は、グループ間の団結や障害者どうしのつながりを促進し、答えを提示するメディアとなりました。障害者の権利に関する活動の歴史と挑戦のすべてをみることができます。



■Remploy Ltd. Archives

英国公文書館との提携により、Remploy Ltd.のアーカイブ文書を収録します。Remploy Ltd.は障害者の雇用機会を提供するイギリスの機関で、1944年に制定された障害者(雇用)法の条項の下に設立されました。第二次大戦後、負傷や障害を抱え、職を失った人々や鉱山労働者のための訓練を提供しました。

■Red Cross Records

1881年に設立されたアメリカ赤十字社は、災害復旧支援の長い歴史を持ちます。障害者に関する記録としては、第一次世界大戦から復員した障害を持つ退役軍人の急増に応え、1918年から1919年にかけて刊行された”Carry On: A Magazine on the Reconstruction of Disabled Soldiers and Sailors”が含まれます。小論文、報告書、調査書では、障害を持つ退役軍人の家庭での状況と、政府機関、慈善機関がこれらの人々の増加に対し、どのように対応してきたかの調査を記録しています。

■No Limits

オーストラリアの障害者関連メディアが提供する”No Limits”は、“everything you ever wanted to know about disability but were afraid to ask.”(障害者について、みなさんが知りたかったのに質問することができなかったすべてのこと)をとりあげる率直なトークショーです。最近の出来事から性、科学、アクセシビリティその他、あらゆるトピックをとりあげます。メディアができる、もしくは行っている活動支援、発展の足跡、役割、影響を記録します。本データベースには、2007年から2013年にかけての7シーズン分の動画が収録されています。

■Sproutflix

知的障害、発達障害の人々を取り上げる唯一の提供元、Sproutflix films は、芸術映画、教育的ドキュメンタリーその他の映画作品を通じて障害を持つ人々の受容を促進し、正しい姿を伝えます。



◆その他の収録コンテンツ例◆

■資料

- ・ “Claimants undergoing rehabilitation and training in the use of guide dogs”
- ・ 1994 Bipartisan Commission on Entitlement and Tax Reform, relating to Disabled Americans
- ・ “‘The Remploy View’ of Consultative Document on Sheltered Employment for Disabled People”
- ・ “Todd Wheelchair: European Patent Certificate of Grant”
- ・ “Reports on artificial limbs by British Limbless Ex-servicemen Association (BLESMA) and National Association for Limbless Disabled (NALD)”
- ・ 1943 Press Release Report on Rehabilitation of Disabled Soldiers and Sailors
- ・ “Severely disabled sighted persons: employment in workshops for the blind”
- ・ “Memorandum Former Reference: CP (71) 61 Title: Services for the Mentally Handicapped”
- ・ “Correspondence with “British Polio” Fellowship”
- ・ Documents pertaining to the Civil Service Retirement and Disability System

■ドキュメンタリービデオ

- ・ I'll Find a Way (1977: National Film Board of Canada, Canada)
(1978 年アカデミー短編ドキュメンタリー映画賞受賞)
- ・ Back Wards to Back Streets: Deinstitutionalization Of Mental Patients (1987: Filmmakers Library, USA)
- ・ Sound and Fury: The Communication Wars of the Deaf (2000: Filmmakers Library, USA)
(2000 年アカデミー賞ノミネート、サンダス映画祭参加)
- ・ SHAMELESS: The ART of Disability (2006: National Film Board of Canada, Canada)
- ・ Bread Makers (2007: Sproutflix, Scotland) (2007 年 BAFTA スコットランド短編映画賞ノミネート)
- ・ Dancing With Downs (2009: Sproutflix, Spain)
- ・ Beyond Borders (2009: Sproutflix, Belgium) (Best of the Festival Award, Focus Film Festival, California)
- ・ Downtown (2010: Sproutflix, Poland)

◆コンテンツ提供元◆

■The National Archives (UK)

- ・ Records of the Unemployment Assistance Boards, the Supplementary Benefits Commission, and of related bodies
- ・ Records of the Disabled Persons Employment Corporation Ltd and of Remploy Ltd
- ・ Records of departments responsible for labour and employment matters and related bodies
- ・ Records created or inherited by the Ministry of Health and successors, Local Government Boards and related bodies
- ・ Records created or inherited by the Ministry of Pensions and National Insurance, and of related, predecessor and successor bodies

■National Archives and Records Administration (USA)

- ・ General Records of the Department of Justice
- ・ Records of the Office of Education
- ・ Records of the American National Red Cross
- ・ Records of the U.S. Information Agency
- ・ Records of the Veterans' Administration
- ・ Records of the Office of the Chief Signal Officer

※ 上記は予定情報を含みます。

※ さらに多くの提供元と、提携に向けて交渉を進めています。

収録コンテンツリスト: 下記サイトのBIBLIOGRAPHYよりご参照ください。

<http://alexanderstreet.com/products/disability-modern-world-history-social-movement>

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける 1 ヶ月の無料トライアルを受け付けております。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課 (電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。



OCLC News

第 10 号

商品情報をはじめ、OCLC に関する様々な情報をご案内致します。

●○Topics●○

オランダ王立図書館が OCLC と長期パートナーシップ契約を締結

2016 年 3 月 31 日、[オランダ王立図書館](#)と OCLC は、メタデータ管理とディスカバリーサービスに関する長期的なパートナーシップ契約を結びました。当契約の主眼は、「効率的なワークフローを実現する標準化された長期的なメタデータ管理」ならびに「オランダの全公共図書館およびその利用者に寄与する所蔵資料の発見可能性向上」の 2 点に置かれています。WorldCat Discovery API が国立の電子図書館インフラに組み込まれ、オランダ国内の公共図書館とその利用者は、このシステムを用いて WorldCat 上に蓄積された世界中の図書館の膨大な所蔵資料から必要な情報を発見できるようになります。館長の Lily Knibbeler 氏は、「公共図書館を代表する形で今回 OCLC とパートナーシップを結び WorldShare プラットフォームを利用することで、各図書館がそのネットワークの中で読書振興や研究支援を通し国民の技能および創造性向上に寄与することが可能となる。これは人々と知を結びつけるという使命の下、全国的、国際的な協力体制を強化しようとするオランダ王立図書館の戦略的目標を支えるものだ」と話しています。[\(当記事の詳細はこちらから≫\)](#)

●○OCLC サービスアップデート●○

新 FirstSearch (仮) の開発が決定！

このたび、OCLC は WorldCat Discovery Services (WCD) 上に WorldCat 等データベース検索機能に特化した新たなインターフェース（仮称：新 FirstSearch）を追加開発することを決定しました。WCD は、FirstSearch に代わるプラットフォームとして、学生などのエンドユーザーがシンプルな検索ボックスから簡単に多様なコンテンツへアクセスできるよう開発されました。しかしながら、より詳細な検索、より詳細な書誌表示を求めて FirstSearch を利用してきた図書館員の皆様からは、これら機能の存続を求める声が多く寄せられておりました。OCLC は図書館共同体としてその声を真摯に受け止めた結果、今回の決定に至ったとのことです。現在 WCD プラットフォームをご利用の機関では、将来的に①ディスカバリー機能特化型 (WCD) と②データベース検索機能特化型 (新 FirstSearch)、自機関のニーズに合ったいずれかのインターフェースを選択してご利用頂けるようになります。また、これに伴い、新 FirstSearch 公開までの暫定措置として、従来の FirstSearch プラットフォームの閉鎖時期延期も発表されています。[\(当記事の詳細はこちらから≫\)](#)

●○OCLC メールニュースより●○

OCLC の新ブログ「Next」が開設されました

OCLC は「あらゆる知見は共有されなければならない。そうすることで私たちは共に躍進を遂げることができる」との信条の下、このたび図書館による図書館のための取り組みをテーマにした新たな情報発信の場として、ブログ [Next](#) を開設しました。



OCLC のリーダークラスの執筆者がそれぞれの洞察や経験を共有し、読者は世界中の OCLC メンバー館の成功事例を学ぶことができます。図書館業務全体に関わるトピックを幅広くカバーしつつ、特に、知の管理の未来像、図書館の変革、また図書館がいかに利用者の暮らしに寄り添っていきべきかといったテーマに、焦点を当てていきます。OCLC News でも、今後、Next 上の記事を適宜取り上げ、ご紹介してまいります。なお投稿記事に対するコメントや著者へのご質問、また取り上げて欲しいトピックのご提案などは、next@oclc.org で随時受け付けられています。

OCLC 「Community Center」 続報！

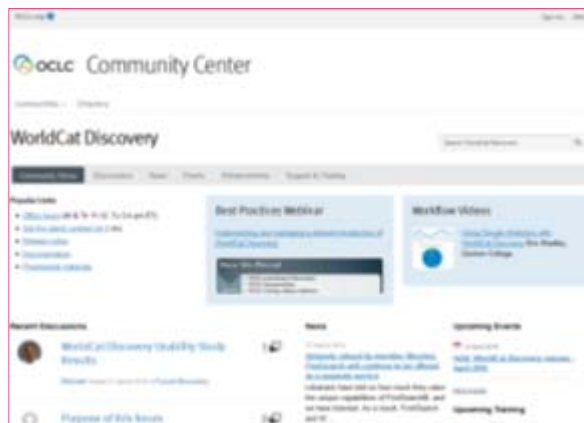
[OCLC News 第 6 号](#) でご案内したユーザー向けプラットフォーム [Community Center](#) について、提供される主なメニューとそれぞれのポイントをご紹介します。

News / Events サービスアップデート、メンテナンス、仕様変更のお知らせや簡単なアンケート、イベント開催などの最新情報が、随時 OCLC スタッフによって投稿されます。「購読」機能で新規投稿のメール受信設定も可能です。

Popular links リリースノートやマニュアル、既知の問題点など、各サービスに関する資料や情報へのリンクが一ヶ所に集約されています。

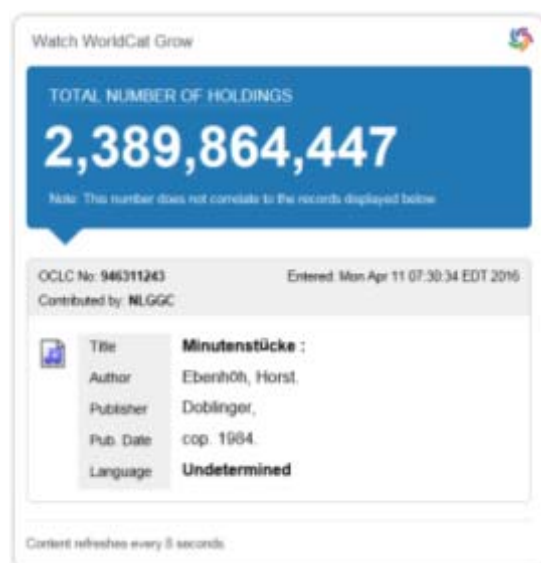
Discussions サービスを利用して生じる疑問や意見などをユーザー間で共有することができます。すべての、あるいは興味のある特定トピックへの新規投稿を随時メール受信できる「購読」機能もあります。

Enhancements サービスを利用する中で生じた改善要望を OCLC に提出することができます。コメントや評価から同じ考えのユーザーが多いことが明らかになれば、OCLC における対応優先度の向上が期待できます。



●○今号の数字●○

WorldCat 上の所蔵レコード数...



2,389,864,447

世界最大の図書館共同目録 [WorldCat](#) の成長をほぼリアルタイムで覗けるウェブサイトをご存知ですか？WorldCat には 3 億 6500 件以上の資料情報が登録されており、各資料には世界中の所蔵館の情報（所蔵レコード）が登録されています。現在の所蔵レコード数は 23 億件を超え、さらに刻一刻と増え続けています。[Watch WorldCat Grow!](#) では 8 秒ごとにデータが更新され、どの資料に、どの図書館が所蔵を付けたのかを見ることができます。世界の図書館員の手で成長し続ける WorldCat の「今」を、是非一度ご覧ください。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み・お問い合わせは…

株式会社紀伊屋書店 学術情報商品部 OCLC センター [<http://www.kinokuniya.co.jp/03f/oclc/>]

電話:03-6910-0516 ファクス:03-6420-1359 e-mail:oclc@kinokuniya.co.jp までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

インディペンデント、インディペンデント・オン・サンデー全文データベース Independent Digital Archive 1986-2012

センゲージラーニング株式会社

本データベースはイギリスの高級紙インディペンデントの、1986 年の創刊号から 2012 年までの全号、全ページを原紙に忠実にページイメージで再現するデジタル・アーカイブです。また、1990 年創刊の日曜版インディペンデント・オン・サンデーも 2012 年まで収録します。

※記事によっては権利関係等のために、データベースに搭載されていない場合もございます。



◆20 世紀に創刊された唯一のイギリス高級紙

1970 年から 1980 年代前半にかけて、イギリス新聞業界は労使の激しい対立の渦中に置かれていました。直接的な原因は、賃上げを求める労働組合側と経費を削減しようとする経営側の対立にありましたが、根本的には、イギリスがこの時期、戦後の福祉国家体制から新自由主義体制へと移行する時代の転換点にあったことに原因を求めることができます。新聞業界における労使の対立を象徴したのが、タイムズの社主ルパート・マードックが新聞製作の拠点をフリー・ストリートからロンドン東部のワッピングへ移転させたことです。最新鋭の設備を備え、従来よりも少ない人員で新聞製作が可能となる新拠点への移転は、熟練労働者を中心に労働組合の猛反対を招くも、サッチャー政権による経営側に有利な労使関係法改正を追い風に、経営的には成功を収めました。新拠点の名前を取って「ワッピング革命」と呼ばれるこの新聞業界の変革は、比較的低コストでの新聞製作が可能であることを示しました。1855 年、印紙税の廃止に伴い、デイリー・テレグラフに代表されるペニー新聞が創刊されたのと同じように、このとき、多くの新聞が創刊されました。その一つがインディペンデントです。創業者はテレグラフの元記者。その旧態依然とした編集方針に不満を感じていた 3 人の記者が創刊した新聞には、タイムズなど伝統的な高級紙を飛び出した記者が集まり、タイムズに替わる高級紙を世に送り出すべく、歩みを始めました。テレグラフ以来実に 131 年ぶりのイギリス高級紙の誕生です。

創刊時、「私たちは独立しています。あなた
は？」というキャッチコピーを掲げた。



◆特定の政党から距離を置いた報道

新しい高級紙としてインディペンデントはこれまでの高級紙との差別化を図りますが、その一つが、新聞の名前でもある「インディペンデント」の意味を編集方針の中で問い続けたことです。たとえば、イギリスの新聞は通常、総選挙の際、支持政党を明確にしますが、インディペンデントはその名の通り特定の政党を持たず、その理由を読者に提示します。

創刊後の最初の総選挙となった 1987 年 6 月の総選挙の直前の社説では、いずれの政策も満足の行くものではないとして、どの政党も支持しなかった。
(Editorial. 9 June. 1987)



THE INDEPENDENT
40 CITY ROAD, LONDON EC1Y 2DB Telephone 071-253-1222; general fax 071-955-1435

The case for Labour

This is the first of three leading articles which, in the run-up to polling day, will put the positive case for each of the three main parties. Tomorrow we will make the case for the Conservatives and on Wednesday it will be the turn of the Liberal Democrats.

If NEIL KINNOCK finds himself unable to form a government this weekend, it will not just be the Labour Party which has lost. There will be at least two other rather more important casualties – the vitality of our parliamentary democracy and the small hope of building a slightly less divided society.

Unless power changes hands, at least sometimes, democracy rots. The ruling party becomes arrogant and aloof – morally if not literally occupied. The perpetual losers forget both the responsibilities and the mechanics of office. Serious people who are interested in power drift away from politics into other more rewarding activities. The quality of opposition is eroded and the executive goes increasingly unchecked. We are closer than we may realise to such a state of affairs. A fourth Labour defeat could bring about its realisation.

A natural party of government may occur, power again, the party would have no alternative other than to make common cause with them over electoral reform and, once established, the momentum for change would become irresistible. Such a scenario is not impossible, but it represents a very considerable triumph for hope over experience. It is far more likely that Labour would pick itself up, dust itself down and carry on much as before, powerless to prevent the overweening Tory hegemony stretching far into the next century.

The main consequence of such an outcome would be a further widening of the gap between those who are successful and prosperous and those who are less fortunate and less able. Given rapidly evolving structural change in the British economy, education and flexibility will be increasingly at a premium. Even under Labour's plans to squeeze a good deal more tax out of people on upper middle incomes, the divide between the relatively affluent and those who lack the skills to prosper in the jobs market is likely to widen in the long term.

The greatest danger we face as a society is the growing number of people who are left out of the prosperity delivered by an expanding economy.

THE INDEPENDENT
40 CITY ROAD, LONDON EC1Y 2DB Telephone 071-253-1222; general fax 071-955-1435

The case for the Conservatives

This is the second of three leading articles putting the case for each of the main parties. Tomorrow we will make the case for the Labour Party and on Wednesday it will be the turn of the Liberal Democrats.

THE FEELINGS of anger and disappointment which have been generated by six long years of Conservative rule are well founded. Almost everything which Labour promises will make Britain less competitive. Its greatest single folly is its determination to increase income tax on an average of more than average earnings to levels which no previous Labour government ever contemplated and to levels which are positive compared with many of our major industrial competitors. The results can be predicted with certainty. The economy of London and the southeast, which has taken the brunt of the recession, will be subjected to a new shock which will, in turn, send money, Conservative voters in Britain, one of the great success stories of the last decade, will fall. The confidence and optimism of British managers will be dealt a severe blow. Effort and risk will be less worthwhile so efforts will be less. Only the tax avoidance industry will thrive.

If governments want to boost economic performance they should confine themselves to improving education and the transportation infrastructure. Everything else should be aimed at stimulating competition and innovation. Unfortunately Labour wants to do the opposite.

THE INDEPENDENT
40 CITY ROAD, LONDON EC1Y 2DB Telephone 071-253-1222; general fax 071-955-1435

The case for the Lib Dems

This is the third leading article in our series making the case for each of the three main political parties.

THE SCALE of Paddy Ashdown's personal achievement is very considerable. Three years ago his party, still struggling from the trauma of the botched merger with the SDP (little of the blame for which attached to Mr. Ashdown), was barely in the top 10 in the polls. By the time of the European Parliament elections, it was the third largest party in the country. It has improved its party's standing, leading to a general election in which it has secured its best ever showing of 22,000 votes and 10 per cent of the vote in 1997. A year ago more comparable with such a showing in Europe and would run the risk of causing outside-class confidence. The Tories appear to be incapable of understanding that people really are prepared to pay more for better services, while Labour is playing the morally bankrupt game of offering that service paid for by everybody else.

Across a spectrum of issues, the Liberal Democrats are more in sympathy with the

1992 年の総選挙の直前の社説では、労働党、保守党、自由民主党の主要 3 政党の政策の良い点を挙げつつ、どの政党も支持しなかった。
(Editorial, 6,7,8, April, 1992)

“The English People believes itself to be free: it is gravely mistaken; it is free only during the election of MPs; as soon as the Members are elected the people is enslaved.” J J ROUSSEAU

So today is freedom day

British democracy can certainly improve, but it is alive and kicking. Give it a go. Leading article, page 21.

At the moment it looks as if the English people are about to elect a new government. This is a good thing, for it is the only way in which the people can have a say in the running of the country. But it is also a bad thing, for it is the only way in which the people can be enslaved. As J.J. Rousseau said, “The English people believes itself to be free: it is gravely mistaken; it is free only during the election of MPs; as soon as the Members are elected the people is enslaved.”

It is true that the people have a say in the running of the country. But it is also true that the people are enslaved. The Members of Parliament are elected to represent the people. But they are also elected to represent the interests of the ruling class. The ruling class is the class that owns the means of production. It is the class that exploits the working class. The working class is the class that works for the ruling class. The ruling class uses the power of the state to exploit the working class. The state is the instrument of the ruling class. The state is the tool of the ruling class. The state is the tool of the ruling class.

1997 年の総選挙の投票日当日、「イギリス人は自分のことを自由だと思っているが、重大な間違いである。イギリス人は議員を選ぶときだけ自由であるだけであって、選挙が終われば奴隷になるのだ」というルソーの言葉をトップページの冒頭に引用し、「さあ、今日は自由の日だ」とのヘッドラインを掲げている。
(May 1, 1997)

◆キャンペーン報道を精力的に展開

地球環境問題、移民、麻薬合法化等、特定テーマに関するキャンペーン報道もインディペンデントの持ち味です。とりわけ 2003 年に始まったイラク戦争に対しては、精力的にキャンペーンを展開し、参戦したブレア政権を批判し続けました。

THE INDEPENDENT
Join the ultimate book group

One year ago

Yesterday

9 April, 2004

THE INDEPENDENT
EAT YOUR HEART OUT, NIGELLA

The Iraq war dividend: Blair and Bush fall to their lowest-ever ratings

26% 31%

11 May, 2006

THE INDEPENDENT
20 YEARS OF GREAT WRITING

FREE BOOK

WHY?

7 October, 2006

THE INDEPENDENT
FREE INSIDE: DOUBLE-SIDED PRINT CLASSIC PHOTOGRAPHY

655,000

THE TOLL OF WAR IN IRAQ

12 October, 2006



18 October, 2006



9 November, 2006



13 November, 2006



21 July, 2007



13 June, 2007



退任直前のブレア首相が講演で「事実と意見は明確に区別しなければなりません。しかし現代のメディアはこの二つを区別しないことを当然のこととみなしています。その典型がインディペンデントです。・・・同紙は意見を述べるジャーナリズムを矯正すべく創刊されました。そのため、インディペンデントと呼ばれたのです。にもかかわらず、現代では公然と意見の新聞になっています。」と、インディペンデントを名指して批判したのに対して、翌日のトップページで、「ブレアさん、イラク戦争を支持しても、同じことを言いますか？」と揶揄した。



23 June, 2006



15 September, 2006



14 March, 2007



24 April, 2007

インディペンデントは地球環境問題でも精力的にキャンペーン報道を展開した。

◆フロントページでは、ユニークなレイアウト、デザインを追及

インディペンデントのもう一つの特徴として、2003 年頃から様変わりしたフロントページのレイアウトとデザインを挙げることができます。白地に短いフレーズが印刷されただけの、ポスターを思わせるレイアウト、1 ページ大の写真に大きな見出し語が掲載された、タブロイド紙と見間違えうレイアウトなど、高級紙のフロントページのイメージを覆すのに十分のインパクトをもっていました。また、ブライアン・ハリス、クレイグ・イーストン、グリーン・グリフィス、デヴィッド・ローズ、トム・ピルストンら、優秀な写真家スタッフを擁し、傑出した写真を送り出しました。



「(2004 年末のスマトラ島沖地震で発生した)津波の犠牲者を忘れないために…黙祷」
(5 January, 2005)



13 March, 2011



イギリス高級紙の伝統に則り、多くの訃報記事を掲載した。漫画家長谷川町子の訃報記事。
(July 14, 1992)



イランに拘束されていたイギリス兵の解放について、拘束事件を平和裏に解決できたブレア首相は「REJOICE(歓喜)」、外交的に勝利したイラン大統領は「VICTORY(勝利)」と、各々の立場を上下対照のレイアウトで表現した。
(5 April, 2007)



ブレア政権 10 周年目の 2007 年 5 月、ブレア政権の 10 年間の実績を年毎に極小の赤い文字で列挙する中で、大きく「IRAQ」と浮き彫りにしてみた。
(11 May, 2007)



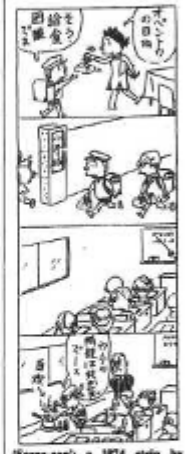
イラク戦争参戦の根拠となったイラクにおける大量兵器の存在に関する情報の信憑性が争われていた中で、国防省の顧問の自殺に関する調査委員会が、報告書の中で政府の情報操作を否定したことに對して、白地に「Whitewash?(ごまかし?)」という赤い文字を浮き彫りにした。
(29 January, 2004)

and sheer guts, a sake company wanted to sponsor her television version of Sasee-san when it started in 1969 but she indignantly refused, preferring to keep her integrity and the series started on NHK, a non-commercial channel. Then she took a bus company to court for infringement of copyright when it used pictures of Sasee-san without her permission in its advertising – something unheard of for a woman. Her autobiography, *Machiko*, was made into a very successful morning television soap opera which I followed with great enjoyment all through the spring of 1979.

Machiko lived with her elder sister, with whom she started Shimada Publishing Company which has published 20 million paperback copies of her cartoons. Towards the end of her life she rarely left their house, preferring the company of cats and wild birds to that of human beings, and refused all requests to appear in public and on television. In her will she stated that the announcement of her death was not to be made until 35 days after her ashes had been laid to rest, for she believed "The dead should not disturb the living." Her funeral was a secret family affair, with no flowers, she had no friends either among cartoonists or the general public, but she did not prevent her fans drawing the most intensely human of all Japanese cartoons, with humour and deep affection for her characters.

Critics and sociologists compared Sasee-san with "Blondie" but there is no similarity, for Sasee-san is no feather-brained city-borne, but a highly articulate, active mother and housewife. The strip is more like *Peanuts* crossed with "Dennis the Menace" with an often very moving loyalty to traditional family values and warm-hearted neighbourliness of a kind now almost non-existent in Japanese cities. Its endogenously comic and reassuringly traditional saga of the old-style suburban three-generation family is classic in its period charm, as the movies of Ozu and Kurosawa appeal to all ages and help bridge the generation gap. The young look upon these products as happening in another country where the people happen to speak Japanese.

Sasee's family name is Isono.



'Sasee-san' a 1974 strip by Machiko from Asahi Shimbun

economic miracle past, for a more formal yet less regimented society, a more human design for living. The Isonos do not even have a car, though as the series progressed and Japanese affluence increased we were then acquiring a washing-machine and a refrigerator. Their tastes are simple. They ride bicycles, and occasionally call a taxi. Cats' lives are precious putting in the garden, plays go and shogi, cultivates bonsai and writes haiku, yet he and his son-in-law are obviously fairly prosperous office workers in the big city and twice a year there are little comedies surrounding their houses. There are no appalling karaoke bars or porno mags, there are no yakuza or politicians, no McDonalds and no Disneyland. Whenever I found myself becoming aspersed with the educational system or the crowded trains, at least or with Sasee-san would restore my good humour.

I mentioned her several times in my essays for Japanese students, and was rewarded by a kind postcard of Sasee-san. In 1987, she opened her own museum in Tokyo, and a shopping arcade is named after her houses.

James Kirkup

Hasegawa Machiko, cartoonist, born Tokyo Japan 30 January 1920, died Tokyo 27 May 1992.

Frederic Maizer Thurns, US artist, died Cologne 4 July, aged 61. Born in Morocco, he had been living in Paris for the last two years. A minimalist painter, a retrospective of his work was held at the Museum of Modern Art, New York.



フロントページに「本日ニュースなし(NO NEWS TODAY)」の文字。ロックスターのボノを一日編集長に招き、70ページの総カエイズ特集号とした。フロントページのデザインはダミアン・ハースト。
(16 May, 2006)



10 July, 1996

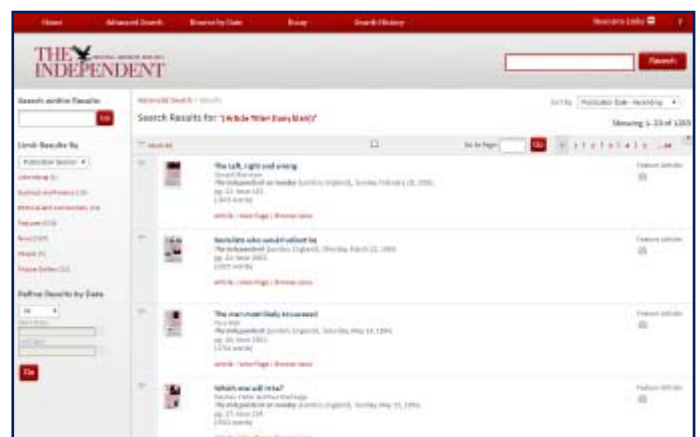


3 December, 1993

中東報道はインディペンデントの最大の強みの一つ。ロバート・フィスク擁するインディペンデントは、その取材力で他紙を圧倒した。フィスクは、オサマ・ビン・ラーディンがまだメディアで注目されていなかった1993年にビン・ラーディンと面談している。因みに、他紙におけるビン・ラーディンの名前が登場する記事の初出は、タイムズが1996年10月、サンデー・タイムズが1996年8月、テレグラフが1996年7月。



詳細検索画面



検索結果画面



文書表示画面



発行日ブラウズ機能

掲載商品のすべてのコンテンツと機能をお試しいただける1ヵ月の無料トライアルを受け付けております。
 掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 電子商品課（電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp）までお願い致します。
 お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaivo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

GIS 標高データ

Digital Elevation Model (DEM)

◆DEM(Digital Elevation Model=数値標高モデル=標高データ)◆

近年は、DEM(Digital Elevation Model)と呼ばれる標高データが世界規模で整備され、製品化が進んでいます。その中から、地球全域をもれなくカバーする、30mクラス※の解像度のデータを EVG (East View Geospatial 社) 製品としてご紹介します。

(※ DEM はラスターのメッシュデータですので「m=メートル」でその精度が表示、表現されます。)

地図として整備された標高データは、18 世紀末に等高線として設定されて以来、新たな測量・計測機器の開発とともに進歩し、精緻化してきました。根本的には空中三角測量が確立してから本格化しましたが、日本においては、1930 年代の寺田寅彦による「地形図の等高線に格子(メッシュ)をかけて傾斜計算をする方式」が、今日の DEM=標高データの萌芽と言えます。

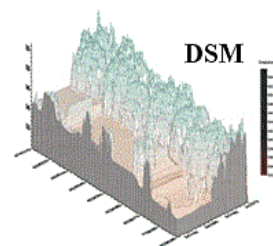
現代では空撮、もしくは人工衛星搭載の高さデータ取得センサーにより DEM は作成されています。

◆DEM には 2 種類あります◆

DEM には基本的には下記の 2 種類があります。

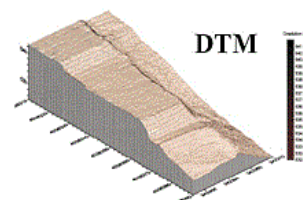
1. DSM=Digital Surface Model

樹木や建造物などの人工構造物の高さも含めた地表のそのままの高さデータです。
景観評価や都市モデルの構築、交通インフラのルート設定などで使用します。

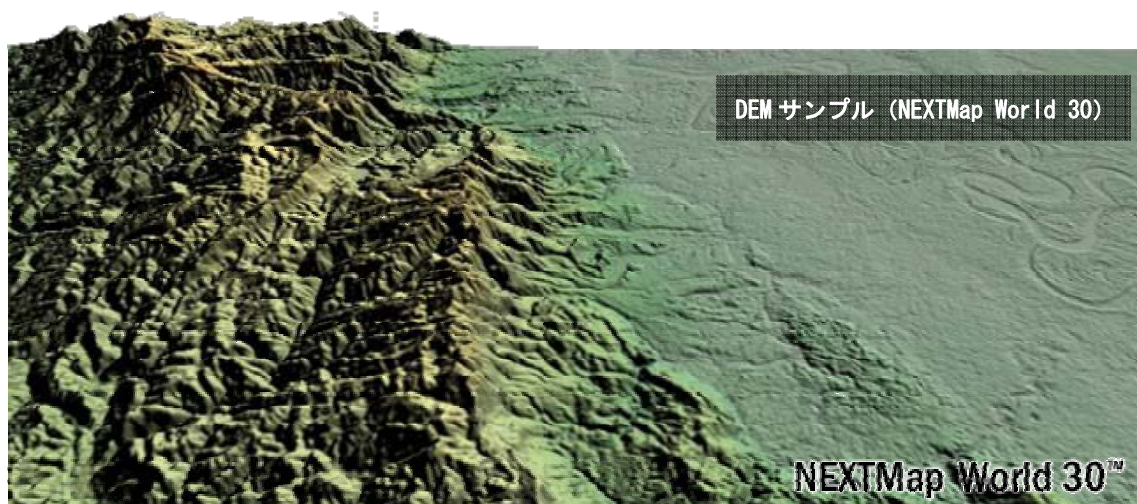


2. DTM=Digital Terrain Model

樹木や人工構造物などの高さを除去した地表のむき出しの高さデータです。
洪水、排水モデルの構築、土地利用、地質学上のアプリケーション(基礎)データとして使用します。



それぞれに使用用途が異なりますが、DTM は基盤となる地図データや、レーザで取得した地形データなどが無いと作成が困難なため、一般的には DSM が DEM と呼ばれるケースが多いのが現状です。国別には国土整備や防災用に細かなメッシュの DTM が整備されつつありますが、製品として公開されているものばかりではありません。ちなみに、日本を対象としたデータでは 5m までの DTM が入手できます。



◆DEM の使用用途◆

DEM は主に以下のような用途に使われます。

- ① 水流の速さや、雪崩や山体崩壊の速さ、量、方向の算定、シミュレーション
- ② 立体地形モデルの作成、時間経過による日照量の算定
- ③ 空撮や衛星画像の偏差、歪みの補正
- ④ 重力計算
- ⑤ その他の地形解析

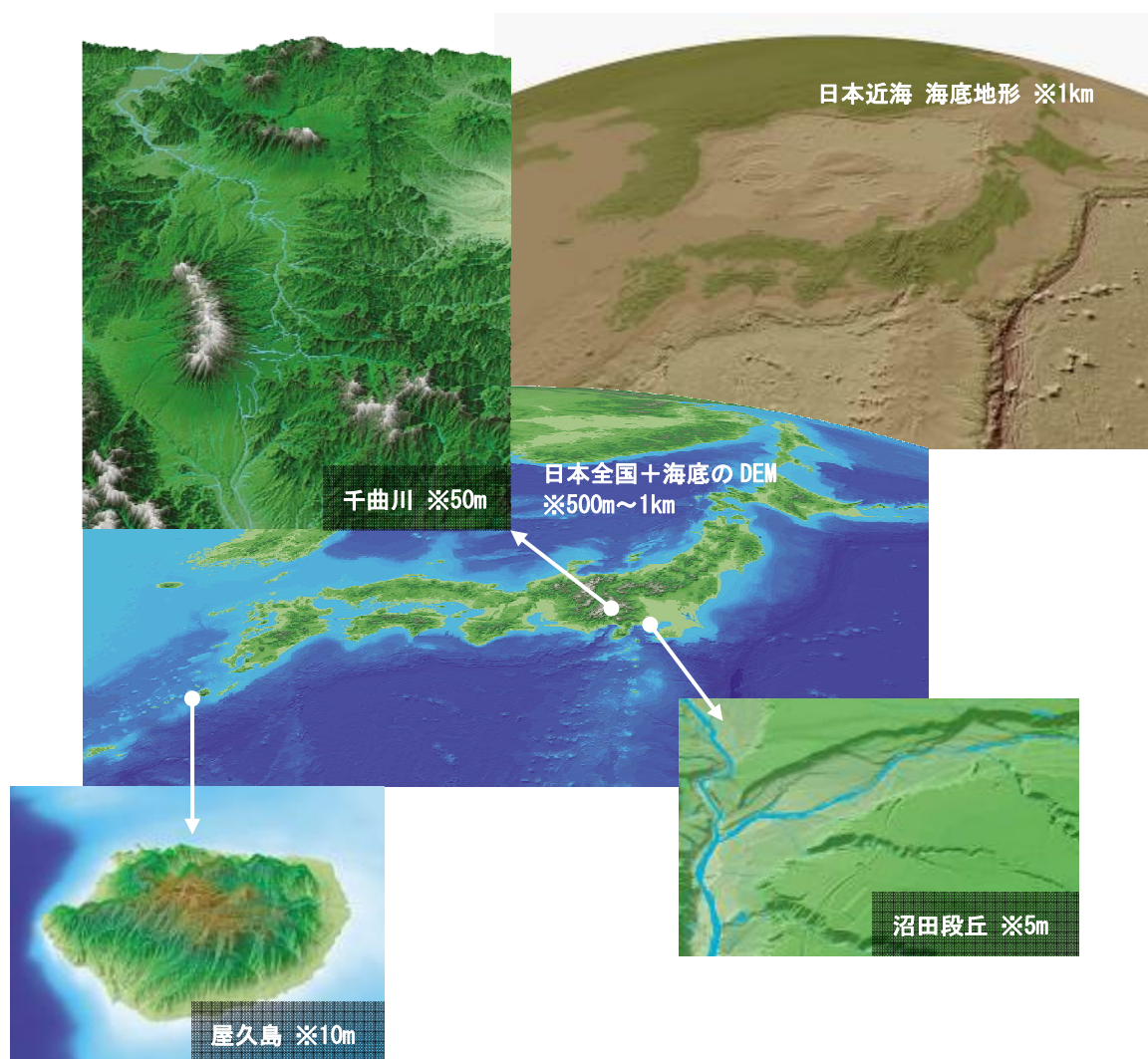
◆DEM を使った分析例◆

標高データ=DEM を用いた基本的な地形解析をベースに、以下のような応用的な分析も可能です。

- ① DEM で高度表現を行った段彩イメージに LandScan データ(人口動態データ)を重ねて、標高ごとの人口分布を分析
- ② ①に水系データを加えて、河川分布とその流速、および人間活動の評価
- ③ 交通ネットワークの開発可能性の分析
- ④ 地震や津波、地滑り、雪崩などの自然災害の防衛的な評価

◆日本国内DEM データ サンプル◆

日本国内を対象とした DEM データも各種取り揃えております。対象地域と解像度(m=メートル)をご指示いただければ、利用目的に合わせたご提案をさせていただきます。



◆主なDEM製品◆

Digital Elevation Model

・地球全域をカバーした製品

① NEXTMap World 30DEM

※複数の DEM ソースに対し、独自プログラムでエラーを除去した高精度 DEM。

② Planet DEM30

③ Planet DEM90

※①よりも精度は低い、比較的安価に入手できる DEM データ。

④ SRTM30MDEM

⑤ SRTM90MDEM

※スペースシャトルのレーダから取得した DEM。都市部の精度は低い、網羅的に整備されている。

⑥ EVDEM90m

⑦ EVGdem90m 北極圏

※地形図データと整合性を持たせた精度の高い DEM。

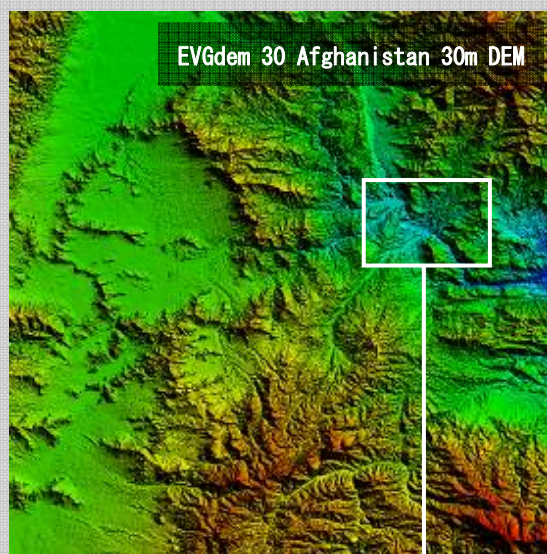
・地域ごとの 30m クラスの DEM

- ① セルビア
- ② アイスランド
- ③ フェロー諸島
- ④ フィリピン
- ⑤ アフガニスタン(右図サンプル参照)
- ⑥ アルバニア
- ⑦ エクアドル
- ⑧ エリトリア
- ⑨ ギリシャ
- ⑩ イスラエル
- ⑪ 北朝鮮
- ⑫ パキスタン

※すべて EVG 製で極めて高い精度の DEM。

・地域ごとの 10mDEM

- ① セルビア
- ② USA



これら既製品以外でも、人工衛星などのデータにより、カスタムメイドで 10m レベルの DEM を作成することが可能ですので、別途ご相談ください。

URL: <http://www.kinokuniya.co.jp/03f/denhan/gis/>

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部
 (電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。
 お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。

Geological / Scientific Maps

GIS 地質図データ

◆地質図とは◆

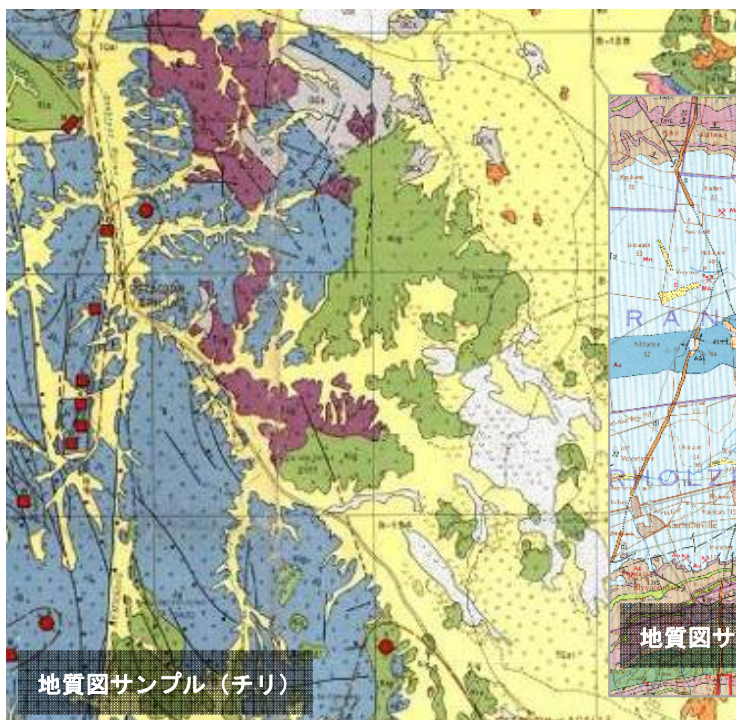
地質図とは、地表付近の地層を、種類、堆積、形成年代、岩相等により分類し、その分布や重なり、断層や褶曲等の地質構造を表現した地図のことです。厳密には、地質図は地質平面図のことを指しますが、断面図や地質柱状図も併記されます。地質図は、地質調査で得られた情報を元に、堆積学、古生物学、層序学、構造地質学等の知識や地質図学の技法を用いて作成されます。

地質平面図の作成には地形図が用いられますが、地形図が地表の地形に植生・土地利用・建造物・道路を表示するのに対し、地質図は地上の構造物と表土以外の、地盤の地質体構成を表示する点で異なります。

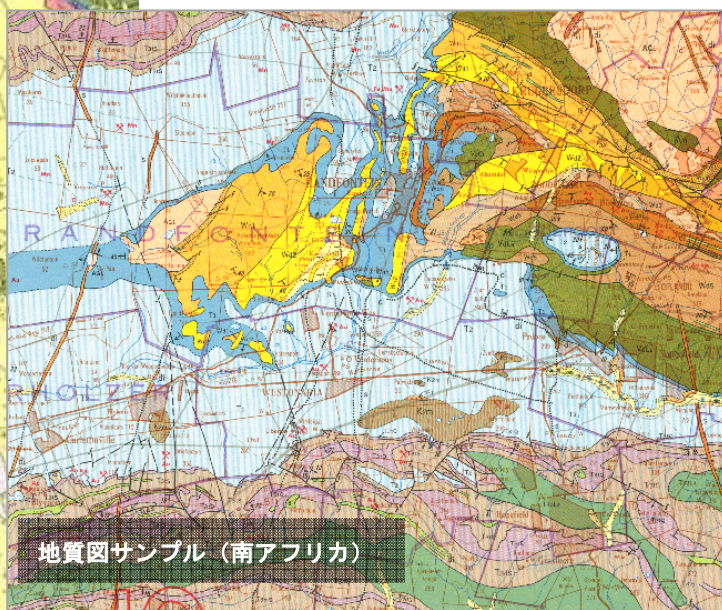
◆地質図の利用◆

地質図は、

1. 学術的な利用の他、
2. 資源開発を目的として、鉄鉱床や石油、地下水などに代表される鉱物資源やエネルギー資源等地下資源の分布状況を把握するために利用されてきました。
3. 最近では、時間軸を加えたシーケンス層序学を用い、生成されているであろう地下資源を推定するための基礎的な資料としても利用されています。
4. また、ダムや原子力発電所、工場、トンネルなどの土木建設工事においては、断層や岩盤の分布や性状を把握することが、候補地や工法等を検討し建設計画を策定する上で重要で、その目的のために作成する地質図を**土木地質図**といい、計画・設計・施工・維持管理を行う技術者が利用するため、通常行われる地質調査に加え、目的の構造物にあわせ、土木地質の見地から岩盤の強度、風化度、湧水状況など、必要に応じた調査を実施し、得られた情報が付記されます。
5. 地震や火山の噴火、土砂災害などの自然災害の予測や防災のためのハザードマップを作成する際にも地質図は必須です。
6. さらに、化石発掘の際にも地質図は必須のアイテムになります。化石は必ず堆積岩層から出土するため、火成岩層ではないことの判断が重要だからです。



地質図サンプル（チリ）



地質図サンプル（南アフリカ）

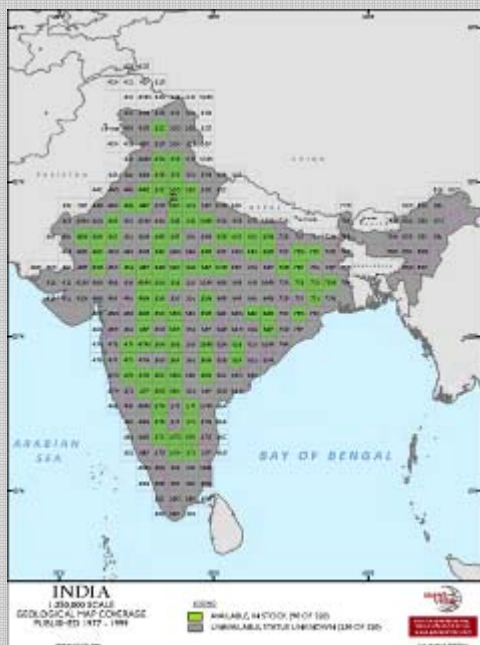
◆EVG 社の地質図コレクション◆

EVG (East View Geospatial) 社は世界最大の地図供給会社ですが、入手困難な地形図に加えて、地質図のコレクションも世界最大です。全世界中の地質図を 1:20,000 から 1:1,000,000 クラスまで豊富に取り揃えています。その中には、長らく門外不出であったモンゴルの 1:200,000 地質図も含まれています。

・主な地質図コレクション

アフガニスタン 1:250,000 縮尺 地質図	
アルゼンチン 1:100,000 縮尺 地質図	アルゼンチン 1:250,000 縮尺 地質図
アルゼンチン 地方別地質図	
ブラジル 1:1,000,000 縮尺 地質図	
チリ 1:250,000 縮尺 地質図	
インド 1:250,000 縮尺 地方別地質図	インド 1:250,000 縮尺 地質図
イラン 1:100,000 縮尺 地質図	イラン 1:100,000 縮尺 地球化学図
イラン 1:250,000 縮尺 地質図	イラン 1:250,000 縮尺 地球磁気地図
マレーシア 地方別地質図	
メキシコ 1:50,000 縮尺 地質図	メキシコ 1:1,000,000 縮尺 地質図
モンゴル 1:200,000 縮尺 地質図	
ネパール 1:250,000 縮尺 地質図	ネパール 1:1,000,000 縮尺 地質図
ペルー 1:50,000 縮尺 地質図	ペルー 1:100,000 縮尺 地質図
フィリピン 1:50,000 縮尺 地質図	
ロシア (旧ソ連) 1:200,000 縮尺 地質図	ロシア (旧ソ連) 1:200,000 縮尺 地質説明書
ロシア (旧ソ連) 1:1,000,000 縮尺 第一世代 地質図コレクション	ロシア (旧ソ連) 1:1,000,000 縮尺 第二世代 地質図コレクション
ロシア (旧ソ連) 1:1,000,000 縮尺 第三世代 地質図コレクション	
南アフリカ 1:50,000 縮尺 地球磁気地図	
タイ 1:250,000 縮尺 地質図	
ベトナム 1:200,000 縮尺 地質図	ベトナム 1:500,000 縮尺 地質図

インデックスマップ http://pvc.jp/contents/EVG_GEO_CATALOG_2015indexmap.pdf



▲ イラン地質図インデックスマップ

◀ インド地質図インデックスマップ



掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部 (電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。URL: <http://www.kinokuniya.co.jp/03f/denhan/gis/>

書籍ダイジェストサービス「SERENDIP(セレンディップ)」のご紹介

厳選した国内・海外の良書のハイライトが10分で読める！

これまで以上に時代の流れが速く、異業種参入など変化が激しい世の中において、既存の業界や業務以外の「広い視野」や「創造力」が求められています。書籍ダイジェストサービス「SERENDIP(セレンディップ)」は、時間のない中で効率よく、自分の知らない世界を知る「きっかけの場」を提供するサービスです。

現在、150社(団体)6万人以上のビジネスパーソンや学生・教職員にご利用いただいています。

◆書籍ダイジェストサービス SERENDIP 3つの特徴◆

特徴1. 3つの視点をもとに幅広いジャンルの本を厳選

- ① 元出版社編集長、大学教授などの良書発掘チーム
- ② 約150社6万人の顧客基盤や有識者・経営者からの推薦
- ③ 著者および出版社からの献本
 - ☆ ビジネスに直結する内容のほか、自然科学、文化、歴史といったさまざまなジャンルから書籍を厳選。(小説、ハウツー本を除く)

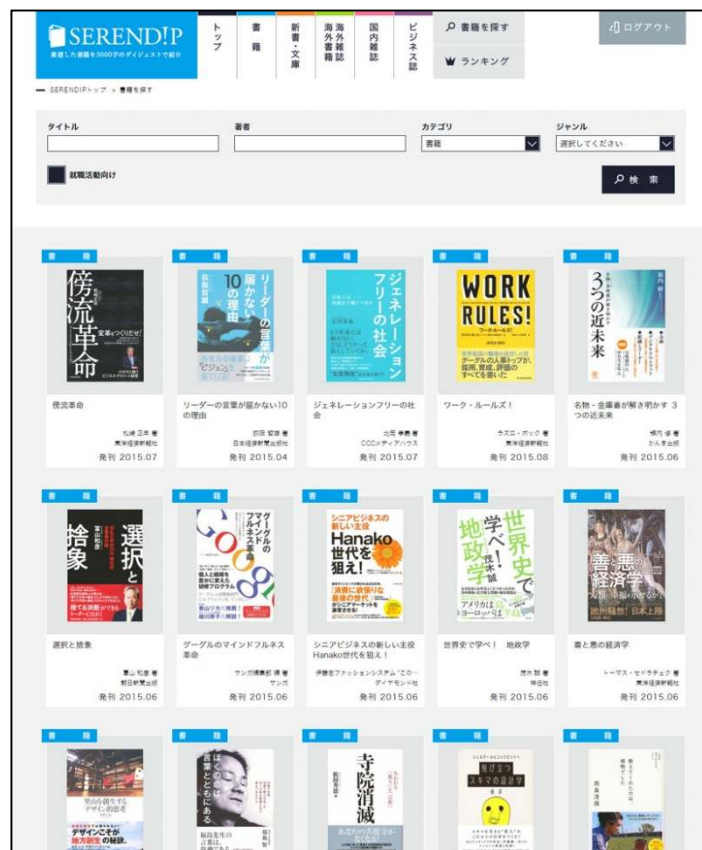
特徴2 著者の感性を伝える抜き書き方式で、

A4 3枚(3000字)にダイジェスト化

ハイライトを著者の表現そのままに抜き書きしているので、著者の言い回しや表現に直接触れられます。

特徴3 日本で出版されていない海外人気書籍も配信。

日本語の書籍だけでなく、日本語に翻訳されていない海外の人気書籍・雑誌記事もカバー！



サービスサイトのイメージ

◆大学での活用例◆

主にキャリアセンター・図書館で利用いただいています。

メールで学生に配信して Twitter で更新を周知するなど、読まれる工夫をされている大学もあります。

●キャリアセンター

就職活動前に社会人としての心構えを身に着ける、企業やビジネスについて考えるためのツールとして

●図書館

自分の専門だけでなく、幅広いジャンルに触れるきっかけとして

◆法人での活用例◆

業種・部署を限定することなく、新たなビジネスチャンスを生み出すために利用いただいています。

下記のようなお声をいただいています。

- ・考えること、悩むことが多い時期に思いもよらぬ方向からヒントが得られた。
- ・自分では能動的に読まない本に触れられるので、知識や教養を広げるきっかけになる。
- ・スマートフォンでも読むことができるので通勤や移動時間の気分転換にもなる

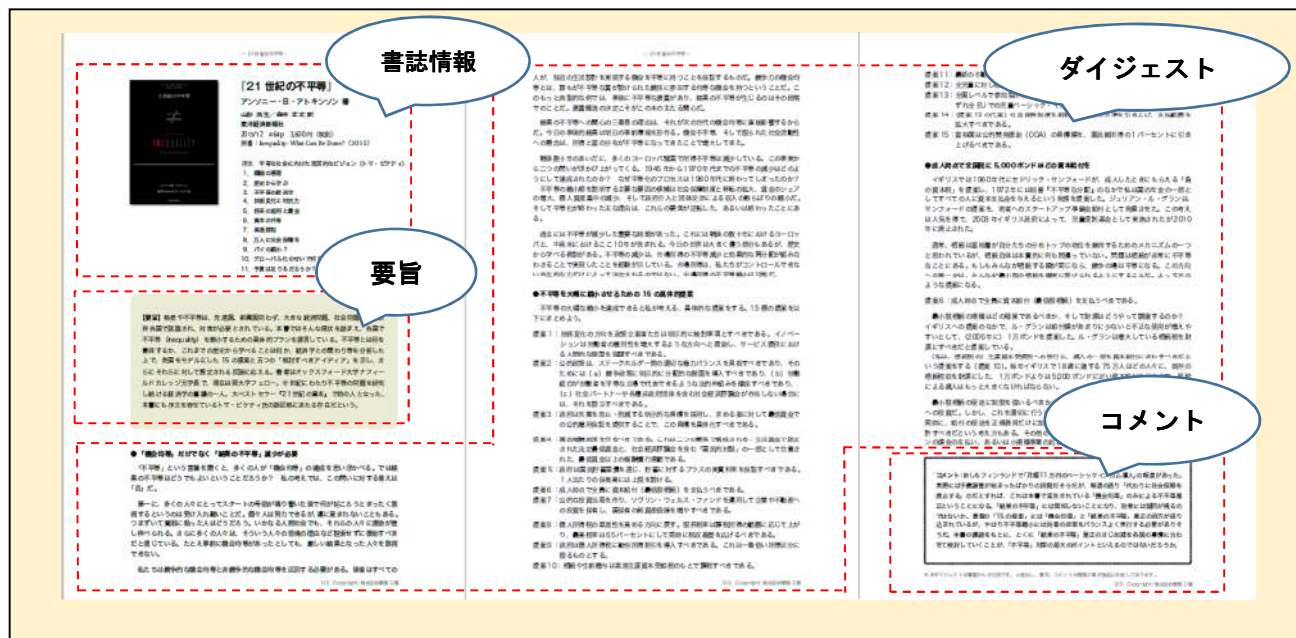
◆SERENDIP サービスサイト 更新スケジュール◆

曜日	カテゴリ
火曜日	国内雑誌記事(2016 年5月以降は新書になる予定)
水曜日	書籍(話題の新刊などのおすすめブック)
木曜日	海外書籍・雑誌記事
金曜日	書籍(ベストセラー・ロングセラーなどの名著)
月曜日	臨時増刊/情報工場メルマガ(再発掘コンテンツ・お知らせ等)

◆ダイジェストイメージ◆

書誌情報・要旨・ダイジェスト・コメントの構成になっています。

※画像は『21 世紀の不平等』(アンソニー・B・アトキンソン著 山形 浩生/森本 正史 訳 東洋経済新報社)のダイジェストの PDF です。



◆要旨例◆

格差や不平等は、先進国、新興国問わず、大きな経済問題、社会問題として世界各国で認識され、対策が必要とされている。本書ではそんな現状を踏まえ、各国で不平等 (inequality) を縮小するための具体的なプランを提言している。不平等とは何を意味するか、これまでの歴史から学べることは何か、経済学との関わり等を分析した上で、英国をモデルにした 15 の提案と五つの「検討すべきアイディア」を示し、さらにそれらに対して想定される反論に答える。著者はオックスフォード大学サフィールドカレッジ元学長で、現在は同大学フェロー。半世紀にわたり不平等の問題を研究し続ける経済学の重鎮の一人。大ベストセラー『21 世紀の資本』で時の人となった、本書にも序文を寄せているトマ・ピケティ氏の師匠格にあたる存在だという。

掲載の商品・サービスに関するお申し込み、お問い合わせは、株式会社 紀伊國屋書店 学術情報商品部

(電話:03-6910-0518、ファクス:03-6420-1359、e-mail:online@kinokuniya.co.jp) までお願い致します。

お預かりした個人情報は、弊社規定の「個人情報取扱方針」<http://www.kinokuniya.co.jp/06f/gaiyo6.htm> に則り、取り扱わせて頂きます。